

令和 2 年 3 月 2 4 日

消費者庁第 4 回 デジタル時代における消費行動に関する検討会資料

デジタル化に対応した 学校での消費者教育 —高等学校のカリキュラムを中心に

鳴門教育大学 准教授 坂本有芳

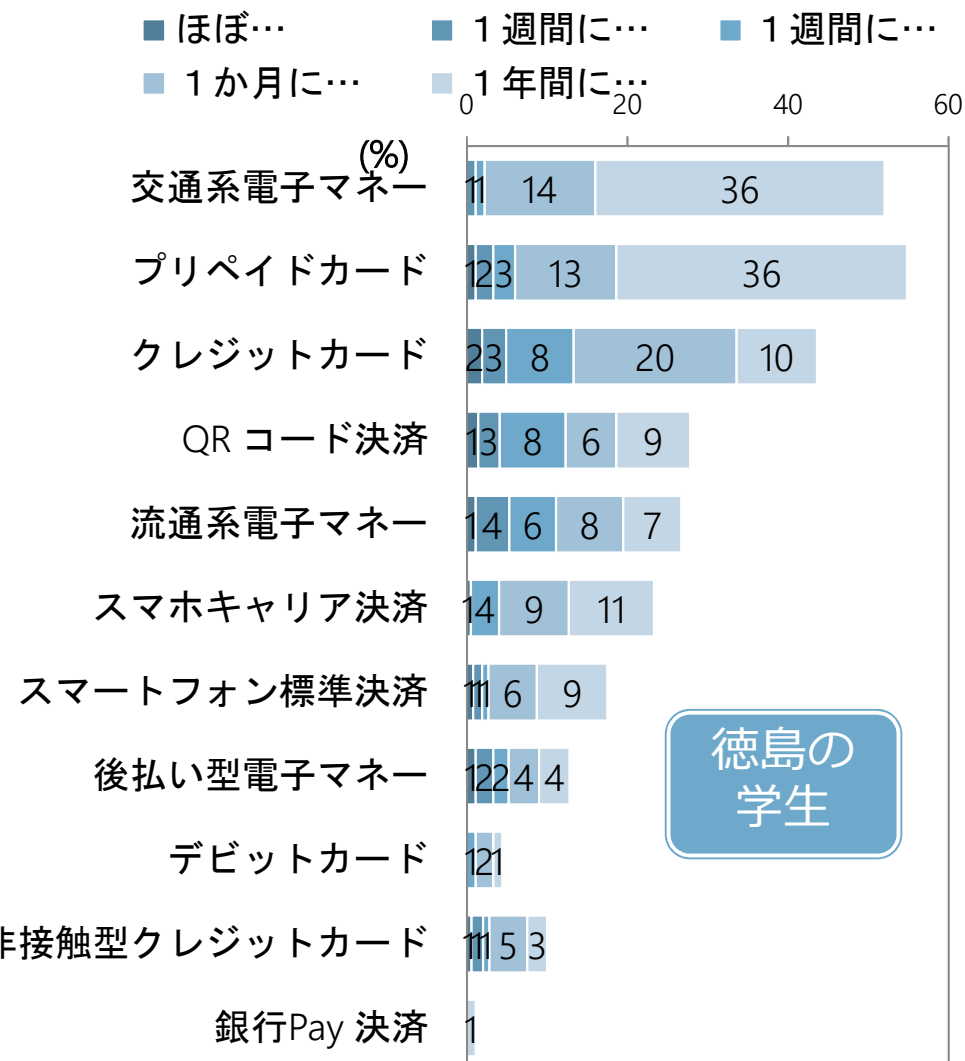
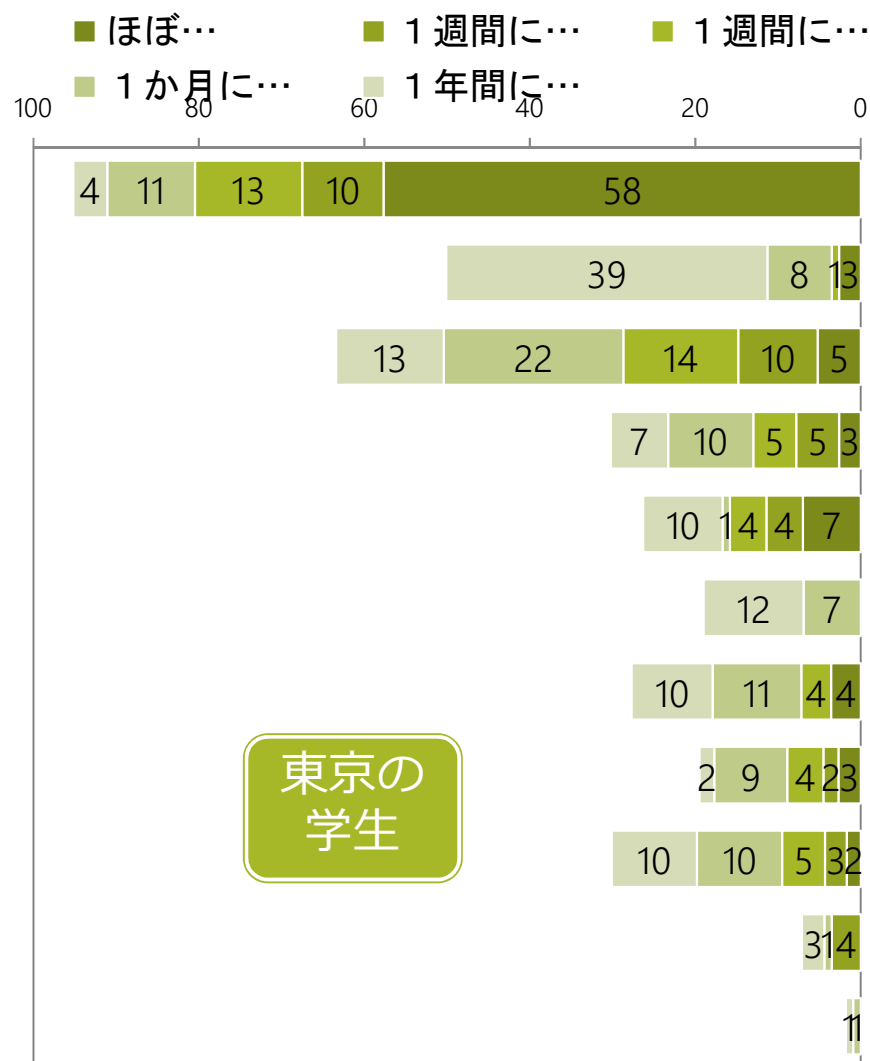
消費者庁 消費者行政新未来創造オフィス客員主任研究官

デジタル取引に関する大学生へのアンケート

	徳島県	東京都
対象者	徳島県内 4 大学の 学部生・大学院生	A理科大学, B工業大学の 学部生・大学院生
標本抽出	知人の大学教員が受け持つ授業を履修する学生	
配布回収 方法	授業開始／終了時を利用した集合法	
調査期間	令和元年11-12月	令和2年1月
有効回答 数（率）	394名（90.0%）	124名（98.4%）
	524名（98.9%）	
配布数	398名	126名

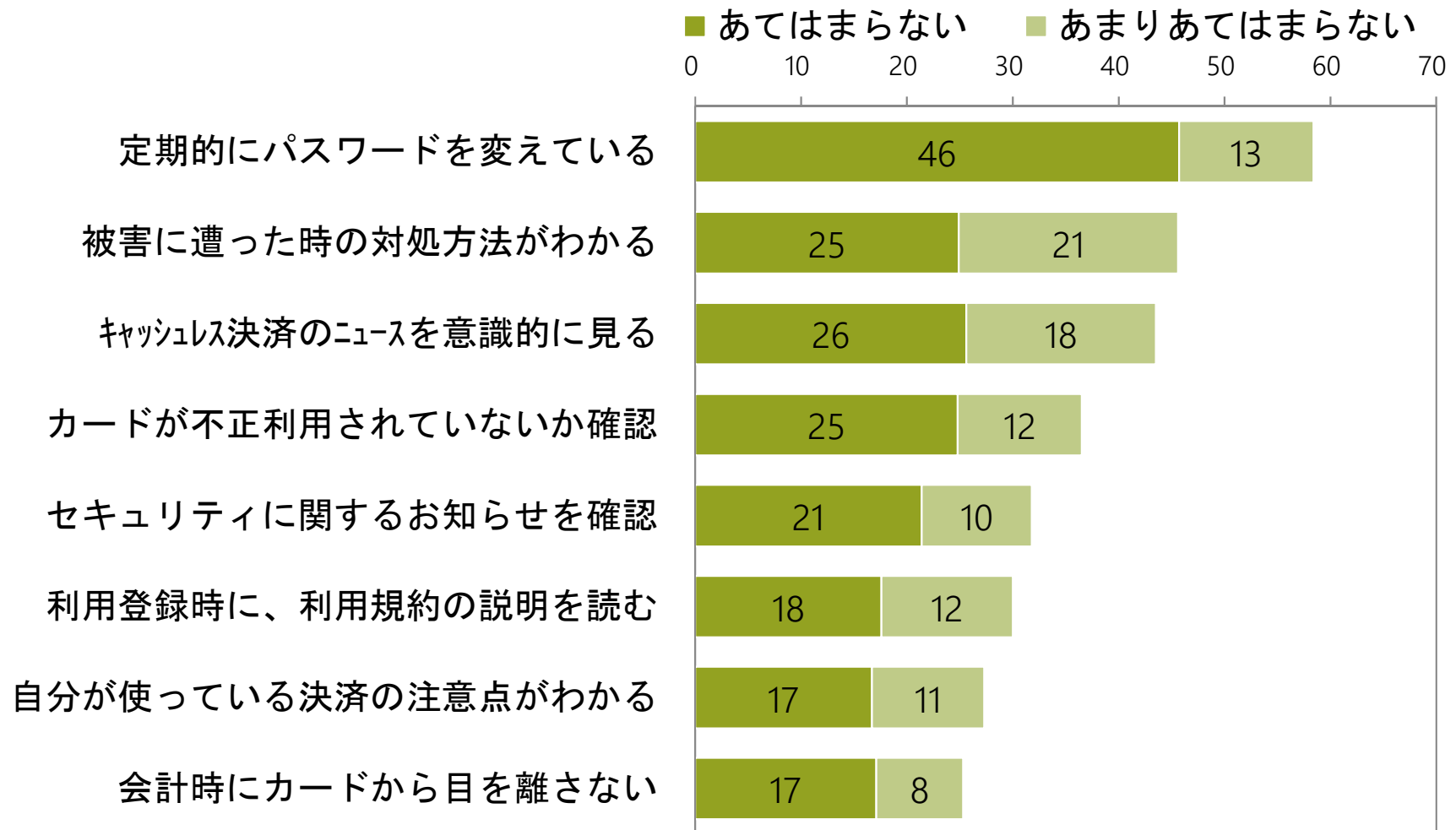
大学生のキャッシュレス決済利用

都市部の利用が多いが、大きく違うのは「交通系電子マネー」



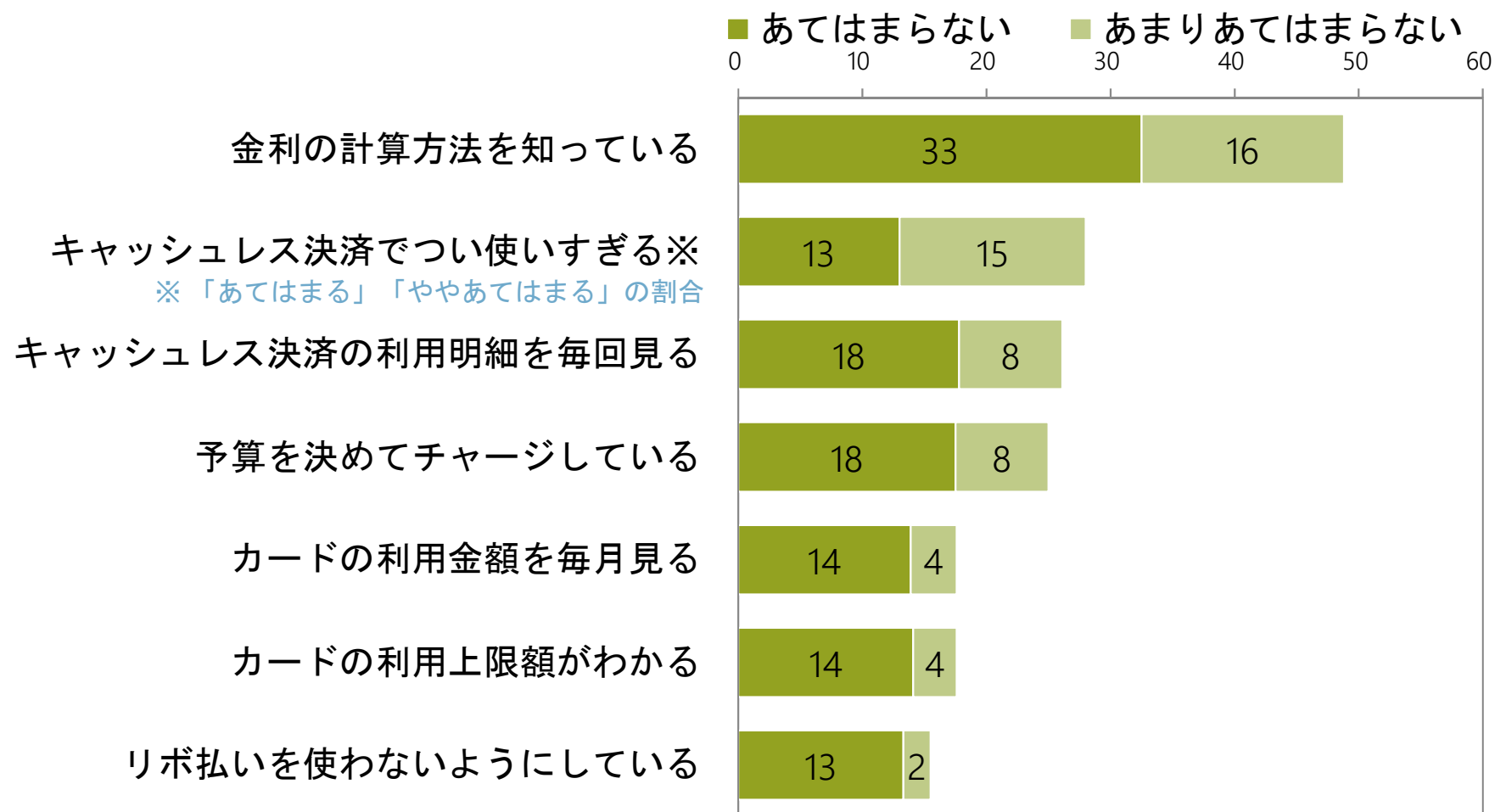
不正利用・被害の防止行動

リスク管理ができていない学生も少なくない



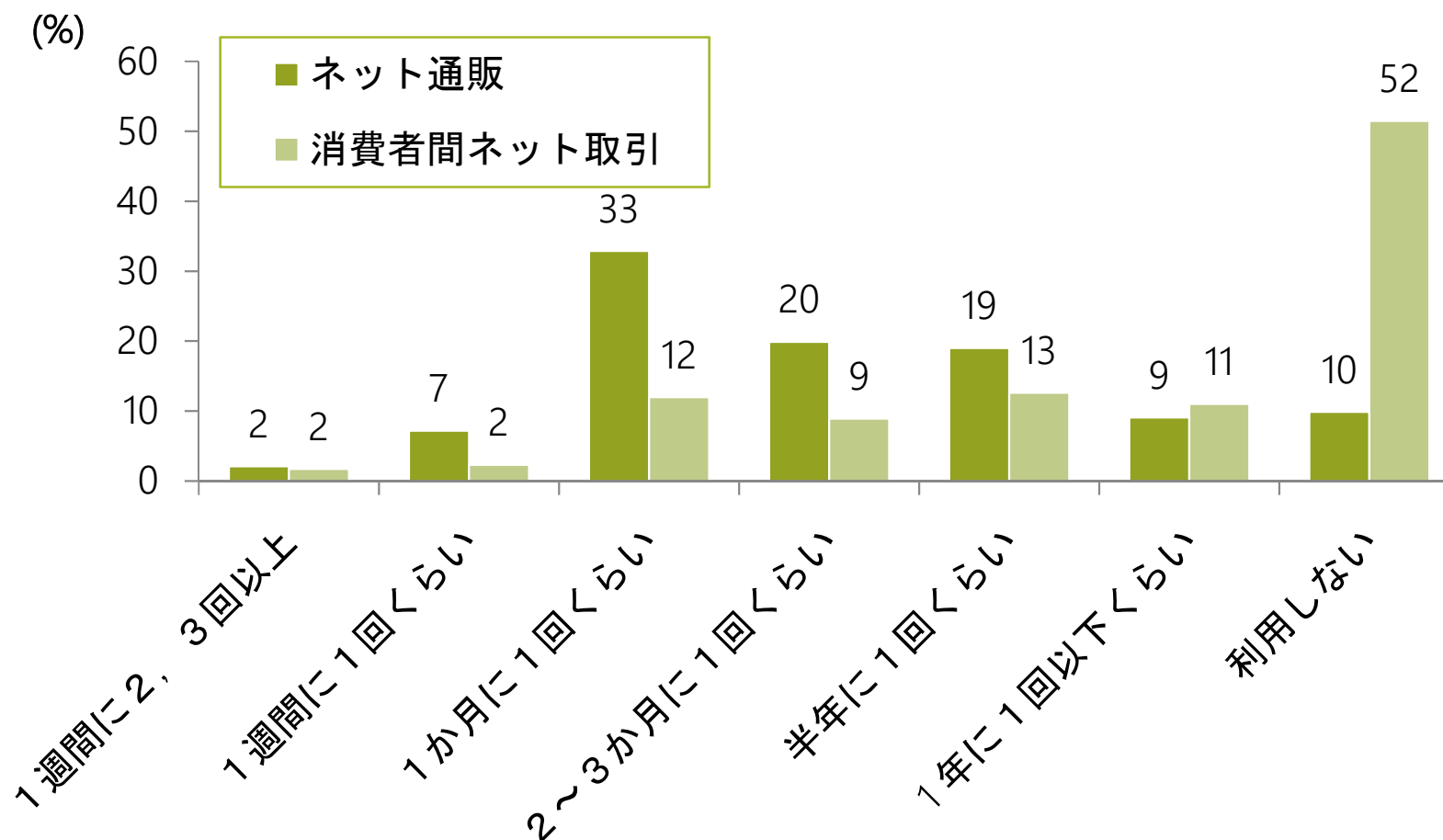
キャッシュレス金銭の管理

金銭管理ができていない学生も一定程度いる



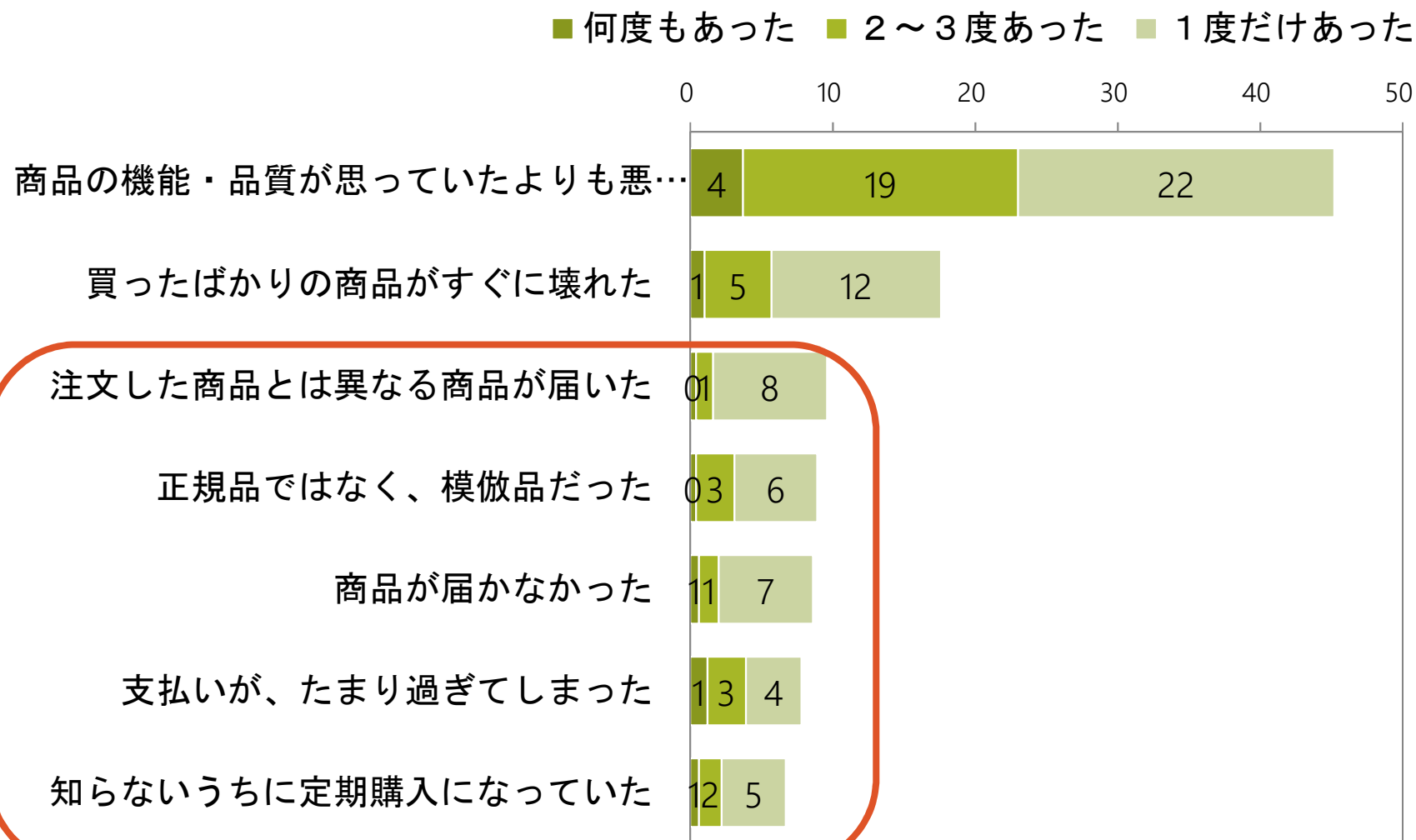
ネットを利用した取引・買物

通販はほとんどが利用，消費者間ネット取引は約半数



ネット取引でのトラブル経験

問題事例も 1 割弱が経験



デジタル時代の教育課題

—消費者の権利と責任を自覚した行動

消費者の8つの権利

- 生活の基本的ニーズが保障される権利
- **安全である権利**
- **知らされる権利**
- **選ぶ権利**
- **意見を反映される権利**
- **補償を受ける権利**
- 消費者教育を受ける権利
- 健全な環境の中で働き生活する権利

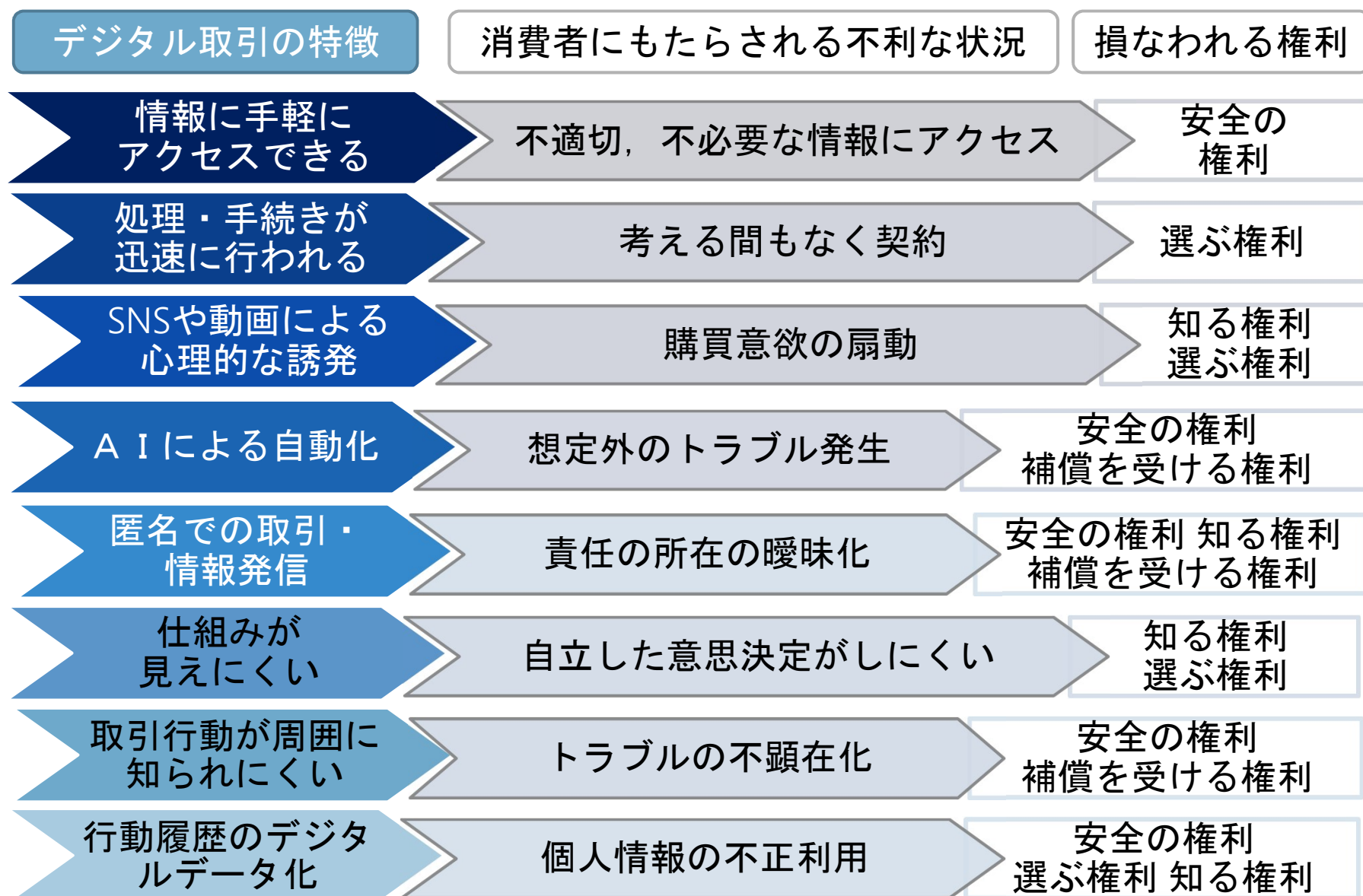
デジタル取引が主流となる中で、これらの権利をどのように守ってゆくのか？

消費者の5つの責任

- 批判的意識の責任
- 自己主張と行動の責任
- 社会的責任
- 環境への自覚の責任
- 連帯の責任

デジタル化の特徴を活かした、責任ある行動のとり方とは？

取引のデジタル化により消費者が受ける影響の例



小学校学習指導要領「家庭」C 消費生活・環境

課題をもって、持続可能な社会の構築に向けて身近な消費生活と環境を考え、工夫する活動を通して、次の事項を身に付ける。

物や金銭の使い方と買物	知識・技能	・ 買物の仕組みや消費者の役割 ・ 物や金銭の大切さと計画的な使い方
		・ 身近な物の選び方、買い方の理解 ・ 購入するために必要な情報の収集・整理
	工夫	購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方を考え、工夫する
環境に配慮した生活	知識・技能	・ 自分の生活と身近な環境との関わり ・ 環境に配慮した物の使い方
	工夫	環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫する

同様の内容を深めながら、中学校、高等学校で繰り返し学習する。

中学校学習指導要領「技術・家庭科」家庭分野

C 消費生活・環境

課題をもって、持続可能な社会の構築に向けて考え、工夫する活動を通して、次の事項を身に付ける。

金銭の 管理と 購入	知識・ 技能	- 購入方法や支払い方法の特徴 - 計画的な金銭管理の必要性 - 売買契約の仕組み 消費者被害の背景とその対応 - 物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理	キャッシュ決済、 ネット通販も扱う
	工夫	物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫する	
消費者 の権利 と責任	知識・ 技能	- 消費者の基本的な権利と責任 - 自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響	
	工夫	身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫する。	
課題と実践		自分や家族の消費生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けて環境に配慮した消費生活を考え、計画を立てて実践	

中学校で基本的な内容を全て学習する。

高等学校学習指導要領「家庭」 家庭基礎

C 持続可能な消費生活・環境

持続可能な社会を構築するために実践的・体験的な学習活動を通して学習。

生活における経済の計画	知識・技能	- 家計の構造 ・ 家計管理 - 生活における経済と社会との関わり
	工夫	生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性をライフステージや社会保障制度などに関連付けて考察
消費行動と意思決定	知識・技能	- 消費者の権利と責任を自覚した行動 - 消費行動における意思決定や契約の重要性 - 生活情報の適切な収集・整理 - 消費生活の現状と課題 - 消費者保護の仕組み
	工夫	自立した消費者として生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費の考察と工夫
持続可能なライフスタイルと環境	知識・技能	- 生活と環境との関わりや持続可能な消費 - 持続可能な社会へ参画することの意義
	工夫	持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費を考察し、ライフスタイルを工夫

デジタル取引を扱うことが可能

高等学校の科目編成と教科の目標（家庭・情報）

家庭（専門学科に開設される教科を除く）

科目	標準 単位数	必修／ 選択
家庭基礎	2	選択 必修
家庭総合	4	
生活デザイン （H34～廃止）	4	

実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。

情報（専門学科に開設される教科を除く）

課程	科目	標準 単位数	必修／ 選択
現行	社会と情報	2	選択 必修
	情報の科学	2	
新課程 H34～	情報Ⅰ	2	必修
	情報Ⅱ	2	選択

情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。

高等学校の科目編成と教科の目標（公民・総合）

公民

科目	標準 単位数	必修／ 選択
現代社会 （H34～「公共」）	2	必修
倫理	2	選択
政治・経済	2	選択

現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

総合的な探求の時間

科目	標準 単位数	必修／ 選択
総合	3～6 弾力的な時間 配分	必修

横断的・総合的な学習を行うことを通して，自己の在り方生き方を考えながら，よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。

【総合のテーマ例】
キャリア教育
ESD（持続可能な
開発のための教育）
環境教育
国際理解教育

人権教育
いじめ防止教育
防災教育
安全教育
健康教育
薬物防止教育

食育
性教育
主権者教育
法教育
金融教育
消費者教育

情報・ICT教育
情報モラル教育
プログラミング教育
ネット依存防止・モラル
教育

高等学校「家庭基礎」年間指導モデル計画 2単位（70時間）

<http://www.jikkyo.co.jp/download/detail/46/9992657393>

実教出版「家基314 新家庭基礎」編集趣意書・年間指導計画案・観点別評価一覧表 より作成

学期	月	学習内容	時数
1 学期	4	家庭科を学ぶにあたって	1
		人とかかわって生きる 自分らしい生き方と家族	5
	5	子どもとかかわる	12
		高齢者とかかわる	3
	7	社会とかかわる	5
2 学期	9	食生活をつくる	16
	11	衣生活をつくる	10
3 学期	1	住生活をつくる	6
	2	消費行動を考える	1
		消費行動と意思決定	2
		社会の変化と消費生活	1
		消費者の権利と責任	1
		持続可能な社会環境	1
	3	経済的に自立する	2
		ライフステージと経済計画	2
		生活設計	2

高等学校「現代社会」年間指導モデル計画 2単位70時間

<http://www.jikkyo.co.jp/download/detail/22/9992657355>

実教出版「現社315 最新現代社会 新訂版」編集趣意書・年間指導計画案・観点別評価一覧表 より作成

内 容		時数
第1部 わたしたちの生きる 社会	1. 地球環境問題 2. 資源・エネルギー問題 3. 生命科学と 情報技術の課題	7
第2部 現代の社会と人間 内容として「消費生活」×「デジタル」を扱うよう明示されていない。	1. 青年期と自己の形成：自分らしく生きる人間としてよく生きる／日本人としての自覚	7
	2. 現代民主政治と日本国憲法 ・ 民主政治の基本原則 ・ 法の支配 ・ 民主政治のしくみ ・ 世界の政治制度	1 1
	・ 日本国憲法の基本的性格 ・ 日本の政治機構と政治参加	1 4
	3. 現代の経済社会と国民生活 ・ 現代経済社会の変容・市場機構の機能と限界，市場の問題点 ・ 個人や企業の経済活動における役割と責任 ・ 経済成長や景気変動と国民福祉の向上 ・ 政府の役割と財政，租税，金融 ・ 日本の雇用，労働，社会保障	1 1
	4. 国際社会と人類の課題 ・ 国際政治の動向 ・ 国際経済の動向と国際協力	5
第3部 共に生きる 社会をめざして	課題を追求する活動を通して，理解を深めるとともに考察を深める	7

高等学校「社会と情報」年間指導モデル計画 2単位70時間

<http://www.jikkyo.co.jp/download/detail/54/9992657405>

実教出版「社情₃₁₂ 高校社会と情報 新訂版」編集趣意書・年間指導計画案・観点別評価一覧表 より作成

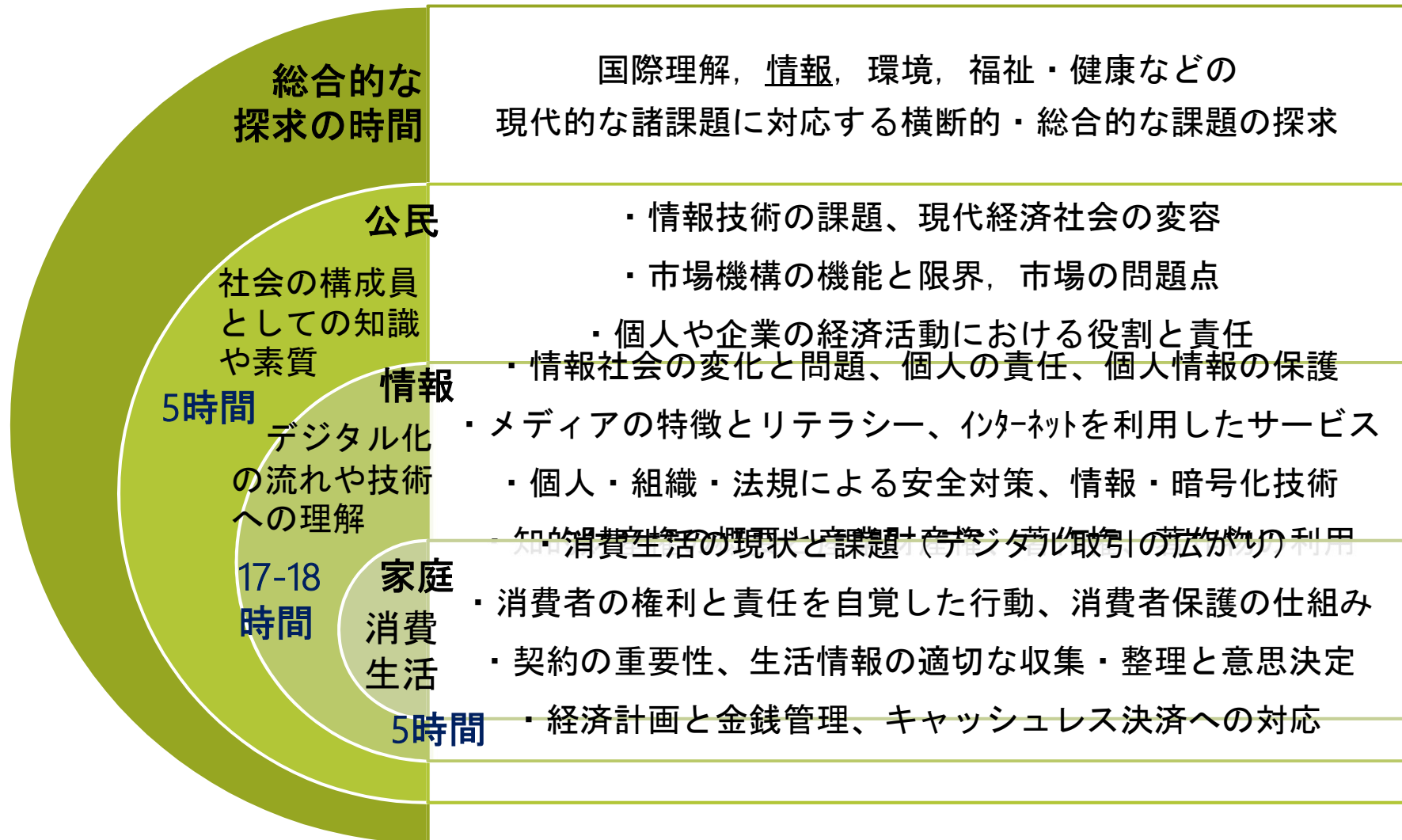
学期	月	内容	時数
		オリエンテーション／コンピュータ教室でのマナー、必要な操作	2
第1学期	4	1 章 情報社会 1 情報と情報社会 2 社会の変化と個人の責任 3 情報社会の問題 4 個人情報とその保護 5 メディアとその特徴 6 メディアリテラシー コンピュータの発達、コンピュータの構成	4
	4 5	2 章 コミュニケーション 1 コミュニケーション 2 電子メールの利用 3 ネットワーク 4 共通の取り決め 5 インターネットの仕組み 6 Webページの閲覧とメールの仕組み 7 インターネットを利用したサービス 社会の中の情報システム 8 情報の共有化と合意形成 人に優しい情報技術	10.5
第2・3学期	6 7	3 章 情報安全 1 個人による安全対策・パスワードやコンピュータウイルス、ウイルス対策ソフト 2 組織による安全対策 3 安全のための情報技術 4 暗号化、暗号化の仕組み 5 法規による安全対策 6 知的財産権の概要と産業財産権 7 著作権 8 著作物の利用	13
	9 10	4 章 デジタル化 1 デジタル情報の特徴 2 静止画像の扱い 3 数値や文字の表し方 4 音声のデジタル化 5 色のデジタル表現 6 画像のデジタル化 動画と立体表現 7 圧縮の種類 8 圧縮の仕組み 9 さまざまな計算	16
	11 3	5 章 問題解決 1 問題を解決するには 2 情報の収集、検索と論理演算 3 情報の整理と管理 4 分析のための工夫 5 関数と統計 6 表とグラフの活用 7 分析の実際 8 問題解決の実践、論理的な文章構成、表現の工夫 9 プレゼンテーションの方法 10 Webページによる情報発信	24.5

「デジタル化」の課題を扱う時間はそれなりに確保できる

高等学校のカリキュラムへいかに組み込むか

総合的な探求の時間も含め、各教科で違う角度から繰り返し学べるカリキュラムを設ければ、必要な教育を行うことができる。

「消費者教育週間／月間」を設けて集中的に学ぶ高校もある。



教育現場で求められる補助教材 何をどう教えるのか、手立てを示す

- 家庭科
 - デジタル化に関わる最新の消費者問題、トラブル事例
 - 個々人の消費生活の具体場面でデジタル取引を扱う教材（情報の整理収集・意思決定、金銭管理）
- 情報科
 - 情報化社会の技術的な発展、変化や課題を学ぶための効果的な教材
 - 技術の内容や操作方法と結び付けた教材
- 公民科
 - デジタル化に関わる最新の社会状況や問題を学ぶ教材
 - 社会の一員としてどう行動するかを調べ、議論する材料となるもの
- 総合的な探求の時間
 - デジタル化に関わる最新の状況や問題を学ぶ教材
 - 課題の探求に応える統計資料、事例集など、資料性の高い教材

**最新の内容にアップデート
された補助教材が必要**

- ・ 教科の目標に対応、時間内で収まる
- ・ デジタル形式で編集可能
- ・ 視覚に訴え、具体的に伝える
- ・ 答えは示さず考えさせる

教材の具体例

—最新の情報を載せ、主体的・対話的な学びに対応し、部品として組み合わせが効くもの

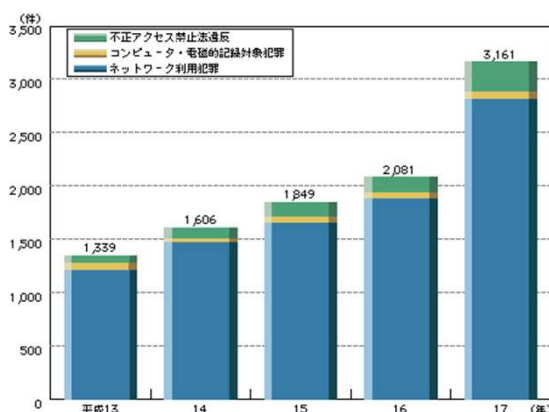
- 引用可能でグラフ化された各種統計データ（各種白書）。
- 最新の取引方法、決済手段、トラブル類型が整理された資料。
- さまざまなトラブルの実例。パワーポイント等で実例とイラスト・写真が掲載されているもの。（動画でなくてよい）
- どこにどのような情報がまとまっているかが記された資料。
- 授業の進行例（指導案）、ワークシートの雛形など。

親子でゲームの遊び方を話し合ってから、楽しみましょう！

テレビで無料とCMをしているゲームサイトに、無料なと思い、娘のために自分のスマホで登録をしました。娘は本当のお金が必要だと思わず、アイテムを多数購入して遊びました。後日カード会社から約10万円の請求書が届きました。

トラブル事例（対処方法は除く）

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/caution/internet/trouble/online.html



各種統計データ

<https://www.npa.go.jp/hakusyo/h18/ho-nbun/hakusho/h18/html/ji1130000.html>

1 ネットショッピングに関するよくある相談事例から考えよう。

事例1
スニーカーをかなり安く売っている業者をインターネットで見つけたので、注文フォームに必要事項を入力して申し込んだ。代金は前払いだったので、指定の個人名義の口座に入金した。
数日経っても商品が届かず、メールで連絡しても商品が届かなかった。そこで「注文をキャンセルし、代金を返金してほしい」とメールを送ったところ、「すでに商品は発送済み」との返信があった。結局、商品は届かないので、あきらめようと思う。

事例2
文房具のネットショップで手帳を注文した。4月始まりの手帳を注文したつもりだったが、届いたのは1月始まりのものだった。そこでショップに連絡して交換をお願いしたところ、「当店は返品を受け付けていません。お客様の注文ミスです。」と言われてしまった。

(1) このような消費者被害にあった原因は何だろうか。話し合ってから記入しよう

<あなたの意見>
事例1:
<班の人の意見>
事例1:

<あなたの意見>
事例2:
<班の人の意見>
事例2:

話し合い活動のワークシート

徳島県作成消費者教育教材

「楽しく学ぼう」あわっ子 消費者教育

演習課題の例 グループでの話し合い・調べ学習の課題例

テーマ：キャッシュレス決済

家庭科	情報科	公民科
どの場面で、どの程度、どのキャッシュレス決済を利用したいと思うか。理由とともにまとめよう。	キャッシュレス決済の安全性はどのように確保／侵害されるのだろうか。主な決済手段毎にまとめよう。	キャッシュレス決済の長所／短所は何だろうか。個人にとって、社会にとっての両面から考えよう。

テーマ：ネット通販・消費者間取引

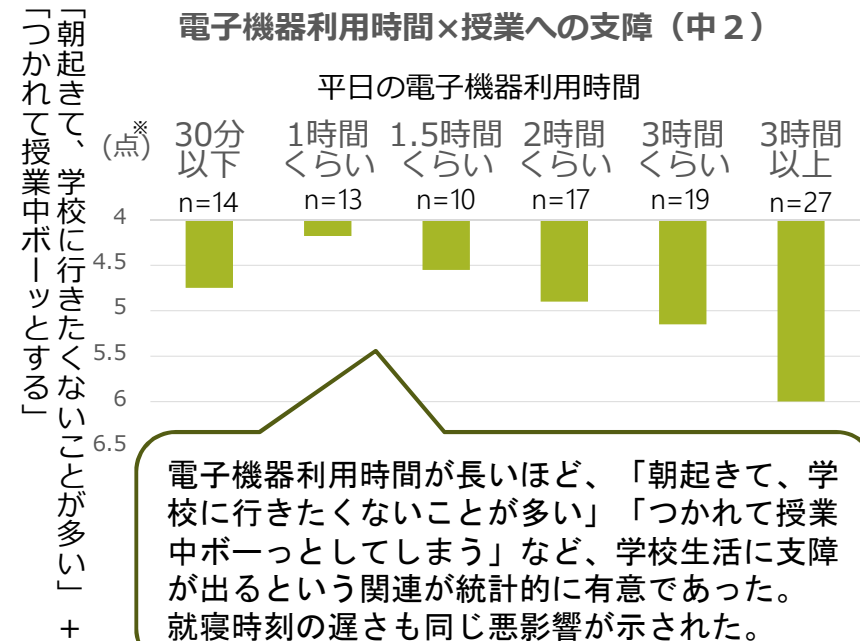
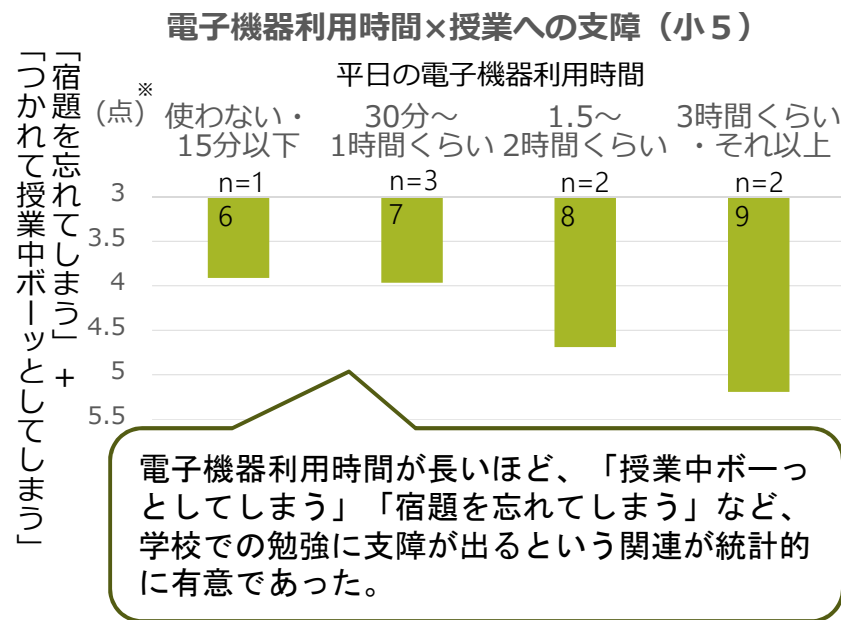
家庭科	情報科	公民科
ネット取引トラブルを予防するために役立つ情報が載っているサイトや投稿を見つけ、紹介しよう。	ネット取引の安全性確保の取組を調べ、消費者に伝えやすくするよう、Webページの改善点を提案しよう。	消費者間取引の長所／短所は何だろうか。個人にとって、社会にとっての両面から考えよう。

テーマ：架空請求被害

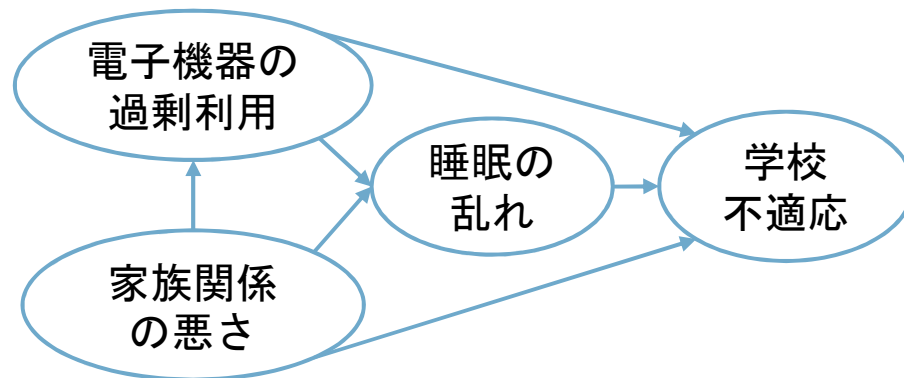
家庭科	情報科	公民科
心当たりのない料金請求のSMSを受け取り、繰返し連絡が入る場合に、消費生活センターに相談するための、相談メモを作成しよう。	SMSを利用した架空請求は、どのように行われているだろうか。メッセージの配信方法を知り、受信ブロックの方法を実践しよう。	近年に増加した消費者トラブルにはどのようなものがあるだろうか。消費者にはどのような対策が求められるだろうか。

デジタル時代の課題：子どもの生活への悪影響

—鳴門市子ども生活調査2019の結果より



※「たいへんよくあてはまる」=4点、「まあまああてはまる」=3点、「あまりあてはまらない」=2点、「全然あてはまらない」=1点として算出した平均点。



- 小学5年生、中学2年生は平日の利用が1時間程度であれば悪影響が観察されない。（0時間にする必要はない）
- 電子機器利用時間よりも、就寝時刻の遅さや不定期さのほうが悪影響は大きい。
- 小2や幼稚園生でも長時間利用の悪影響が観察された。3年前調査と比較すると、利用の低年齢化が顕著であった。

デジタル化の進展：学校現場の課題

- オンラインゲームの課金トラブルは小中学生で多く報告される
- ただし、消費者トラブルよりもネットいじめ、過剰利用による学校生活への悪影響のほうが学校現場の危機感が高い。

学校による
保護者への
働きかけ

専門家による
出前授業の
実施

事業者による
自主的な規制

大きな成果が見られない
事業者による自主的な規制では、各家庭に浸透していない。

事業者に対し規制の導入を義務付ける必要があるのでは？

- 年齢による課金上限額の設定の義務化
- 年齢に応じた1日当たりのオンラインゲーム利用可能時間の制限：
1日あたり2時間など
- 年齢に応じたオンラインゲーム・SNS利用可能時刻の制限：
夜9時までなど